

蔵王国定公園

公園計画変更書

[一部変更]

(環境省原案)

令和 年 月 日

環 境 省

目次

第1	公園計画の変更・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1	変更理由・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	事業計画の変更内容・・・・・・・・	3
(1)	施設計画・・・・・・・・	3
ア	保護施設計画・・・・・・・・	3

第1 公園計画の変更

1 変更理由

蔵王国定公園は、面白山の火山群及び蔵王連峰を中心とする山岳公園で、宮城県と山形県の県境に位置している。蔵王山系一帯は、新旧さまざまな火山活動によって形成された多様な地形から特徴的な植生が見られる。蔵王山系の標高 1,350m 前後にはオオシラビソが広く分布しており、冬季にはオオシラビソに過冷却水滴を含む強い北風が吹きつけることで樹氷が形成される。樹氷は蔵王の代表的な景観であり、国内外からの多くの利用者が訪れる。

本公園は、昭和 38 年に国定公園に指定され、平成 4 年に再検討が行われ、その後平成 22 年に一部変更が行われている。

平成 25 年以降、蔵王山系ではオオシラビソの枯損被害が広範囲で発生し、特に枯損の著しい地域では、自生する稚樹がほとんど確認できず、自然更新による植生の回復が困難な状況となっている。

このため、衰退した植生の復元を図るため、植生復元施設計画を追加し、本地域の特徴的なオオシラビソの植生復元を図り、国内外から多くの利用者が鑑賞に訪れる樹氷の回復を目指して、公園計画の一部変更をするものである。

2 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

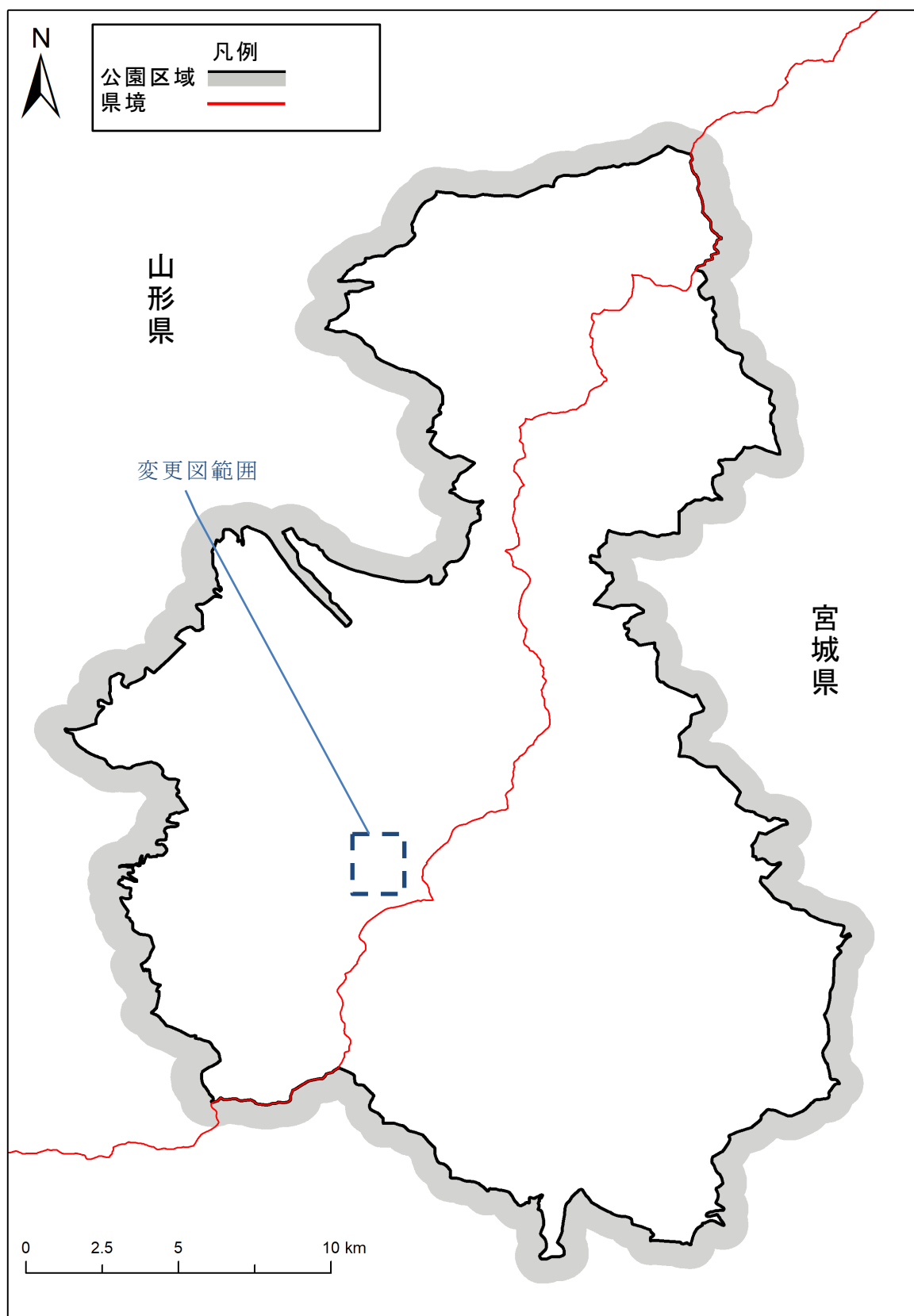
ア 保護施設計画

次の保護施設計画を追加する。

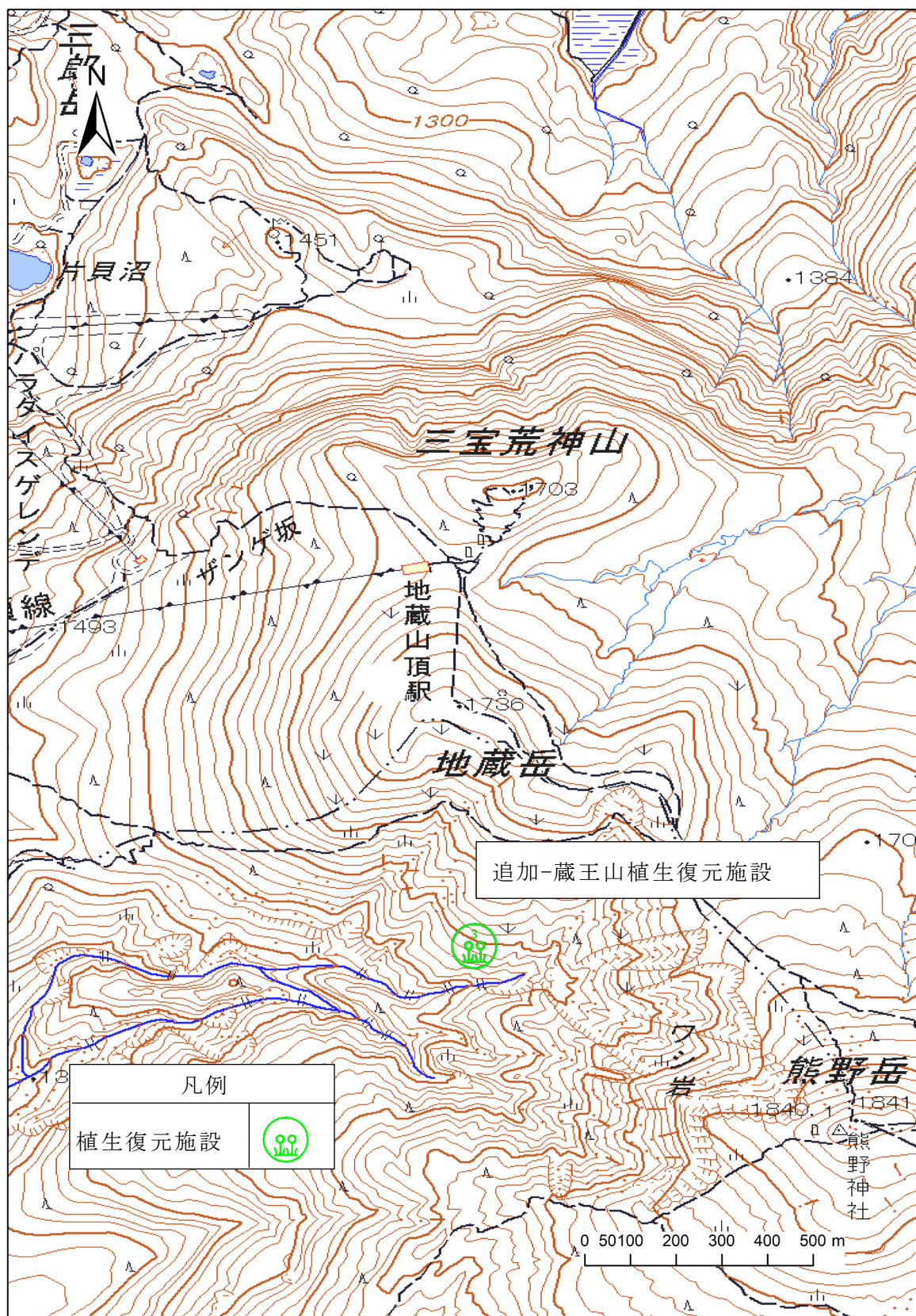
(表1：保護施設追加表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
3	植生復元施設	山形県山形市、上山市(蔵王山)	オオシラビソの枯損により植生が衰退する蔵王山周辺においてオオシラビソの復元を図るため、育苗・植栽、笹刈り等を行う。	新規

保護施設計画変更位置図



保護施設計画変更図



背景図：電子地形図 25,000（国土地理院）